

新井素子／作家

次の元号のジュブナイルSF

町に忍び寄る謎のもの、消える人々、よくわからない万引き少女に、なぜかその行動に干渉できる自分、そしてそんな千明の意志を押しかえしてくるもの。いきなり時間が飛び、なくなってしまった千明の家。

でも。個々の要素が、昭和のジュブナイルSFとは、まったく違うのだ。

たとえば、昭和のSFだったら、ひとが消えるって大事件だ。ふっと気がいたら三か月たってて、親がいないって、大変な事態だ。なのに。



ポーン・ロボット

森川成美・作
田中達之・絵



つづきはウェブで！